

「不正アクセスに関するご報告とお詫び」

ご利用者の皆様へ

日頃千代田区立図書館をご利用いただき誠にありがとうございます。

さてこのたび、千代田区立図書館ホームページにおいて不正アクセスによるプログラム改ざんが確認されたため、現在ホームページの公開を停止しています。

ご利用者の皆様には大変ご不便をお掛けし、関係者の皆様も含め多大なご迷惑をお掛けしてしまい、誠に申し訳なく心よりお詫び申し上げます。

ホームページを復旧させるにあたり、第三者機関に依頼し調査を行ってまいりましたがその結果がでましたので、状況の経緯、今後の運営につきましてご報告申し上げます。

1. 不正アクセスの状況について

千代田区立図書館ホームページの管理画面が不正アクセスされ、WEB ページを作成するプログラムファイルが改ざんされました。その結果ウイルス対策ソフトが発動し改ざんされたファイルを隔離したため、ホームページが閲覧できなくなり、平成 29 年 11 月 8 日 11 時 15 分、ホームページの公開を停止いたしました。

調査の結果、海外で管理する IP アドレスより不正ログインされ、有害サイトに強制的にアクセスさせる不正コードを追加されていることが確認されました。その結果、平成 29 年 11 月 7 日 19 時 22 分から、ウイルス対策ソフトが、改ざんファイルを隔離した 8 日 6 時 52 分の間に千代田区立図書館ホームページ (www.library.chiyoda.tokyo.jp) にアクセスされた方が、強制的に有害サイトに誘導されるという状況が発生し、13 件のお問合せがありました。

その後復旧と再発防止を図るべく、外部の調査会社に調査を依頼し、12 月 26 日に調査報告を受けました。なお、個人情報漏洩した可能性は低いですが、攻撃を行った第三者により、一部の利用者のメールアドレスが閲覧可能であったことが確認されました。

2. 不正アクセスの原因について

情報セキュリティに関する管理体制が不十分だったといえます。指定管理者として、ID・パスワードの管理やアプリケーションのバージョンアップなどの必要な対応ができず、今回の不正アクセスが実行されてしまいました。

3. 今後について

千代田区立図書館ホームページに関しましては、第三者機関による調査結果を踏まえ、安全に復旧させるためにはセキュリティ設計からやり直す必要があり、改修には3か月以上要することが判明しました。そのため、千代田区立図書館ホームページは、新図書館システム及び新図書館ホームページ稼働まで引き続き停止とさせていただきます。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

ご利用者の皆様にはご不便とご迷惑をおかけいたしますが、新システムは、3月14日からセキュリティ対策の強化を図りより高いサービス提供を目指し再開いたしますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先：千代田図書館 03-5211-4289 (代)

千代田区立図書館 指定管理者 千代田ルネッサンスグループ

ゼネラルマネージャー 宮尾 賢一

代表企業 株式会社 小学館集英社プロダクション

構成企業 株式会社 ヴィアックス

株式会社 シェアード・ビジョン

サントリーパブリシティサービス 株式会社

株式会社 図書館流通センター

大星ビル管理 株式会社